

ソフトバンクグループが通信子会社の株式上場準備を開始 一格付への影響は限定的になる可能性が高いが、グループの組織構成などに注目

以下は、ソフトバンクグループ株式会社（証券コード：9984）によるソフトバンク株式会社（SB）の株式上場準備の開始についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 本日、当社はSBとともにSBの株式上場の準備を開始すると公表した。SBの株式を上場することにより、グローバルな規模で投資を進める当社と、グループの通信事業分野において中核企業であるSBの役割と価値を明確に分けることを意図したものである。SBはグループ各社との事業シナジーを追求し、幅広い領域へ機動的に事業を展開することで経営基盤のさらなる強化を目指すとしている。当社としては、SB上場後もグループの通信分野においてSBは重要な連結子会社であることを前提としている。当社の信用力およびキャッシュフローへの影響を考慮して慎重にグループの組織構成および資本構成を検討する方針である。
- (2) JCRでは、純粋持株会社の格付を行う場合、当該グループ全体のキャッシュフロー創出力と持株会社がグループ会社をコントロールする力（持株会社のグループ支配力）を重視している。持株会社のグループ支配力については、子会社への出資比率や持株会社の子会社経営への関与状況などにより判断する。現状、SBは当社の持株比率99.99%の子会社であり、当社はSBの安定的で高水準のキャッシュフローを、持株会社の運営に活用できる状況にある。SB上場後も、①SBはグループの通信事業分野における中核企業として重要な連結子会社として位置付けられること②持株会社の運営に十分なキャッシュフローをSBより受け取る仕組みが確保されること、が実現すれば、SB上場に伴う当社格付への影響は限定的になるとJCRでは見ている。JCRではこれらの条件が満たされる可能性が高いと見ており、今後、上場に関する検討状況について注目したい。

(担当) 千種 裕之・本西 明久

【参考】

発行体：ソフトバンクグループ株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル